

とする。つぎに関数 に接続する関数 を与え、歯形を
回転方向に回転させる。そのときの雄ロータ上での創成
関数を関数 とする。駆動側歯面では、雄ロータ上の関
数 , または雌ロータ上の関数 回転双歯面回転歯面は重畳のタテノ鏡 度巴諷荀亮ヨ睨P翠孫【で

2. 縮閉線によるシール点の作図

2.

が反時計方向に回転した場合，創成される関数である。
基本的には，関数

